

いのちを守る福祉・  
防災都市東京へ！  
都政に憲法を！

# 都民がつくる革新都政

2018年5月15日  
発行 = 革新都政をつくる会  
発行人・中山 伸  
〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10  
東京労働会館5F 電話 (5978) 4031  
ホームページ: http://kakushintosei.org/  
E-mail: info@kakushintosei.org  
(1部25円、送料は別途)

## 小池都政をどうみるか

革新都政をつくる会

### 「都政転換をめざす講演会」開催



小池都政誕生から1年8か月、任期の折り返しを迎え、財界と安倍暴走政治に追随する姿が見えてくるなかで、革新都政をつくる会は、都民要求実現全都連絡会協賛、東京民報社後援で4月27日、「都政転換をめざす講演会」を開催しました。当日は、歴史的な南北首脳会談がおこなわれ、同時刻に国民を欺く安倍内閣の総辞職を求める国会行動が展開される大激動のなかで都政のあり方を問う講演会となりました。

開会にあたって、荻原淳代表世話人があいさつ。安倍暴走政権が憲政を推進するも、小池知事は国政・都政を混乱させ、選挙で掲げた都民との約束を守らず、厳しい批判を浴びていると述べ、「都民が主人公の都政に転換しよう」と訴えました。

講演について、都民要求実現、都政転換を求めて、各分野から5氏が発言。切実な思いをこめて、小池都政を厳しく告発しました。

大山氏は冒頭、14兆円にも及ぶ巨大な東京都の予算を都民のためにどう使うかで都政の姿が浮き彫りになると指摘し、日本共産党都議団が2018年度予算に反対したことを報告しました。

さらに、大山氏は、築地の移転問題を取り上げ、敷地内に環状2号線を通すための用地取得費100億円が計上されたことを紹介。これは、築地市場廃止が前提であり、小池知事は、食の安全・安心、築地市場を守るとした自らの公約を投げ捨て、深刻な土壌汚染の豊洲へ、市場関係者の合意も納得も得られていないなかで移転を強行しようとするものと厳しく批判しました。

また、都議会第1回定例会中に浮上した「迷惑防止条例」や「横田基地へのオスプレイ配備強行」に対する小池知事と都議会各派の態度については、広範な都民に伝えていくことの重要性を共有しました。



5月1日、◇9条改憲反対◇戦争法廃止 安倍政権の退陣を！◇なくせ貧困・格差 8時間働けば暮らせる社会を！◇辺野古新基地建設反対 震災復興 原発ゼロを、第89回中央メーデーが全国307カ所で開かれ、約15万人以上が参加。代々木公園には2万8千人

5月1日、◇9条改憲反対◇戦争法廃止 安倍政権の退陣を！◇なくせ貧困・格差 8時間働けば暮らせる社会を！◇辺野古新基地建設反対 震災復興 原発ゼロを、第89回中央メーデーが全国307カ所で開かれ、約15万人以上が参加。代々木公園には2万8千人

とを何も考えていないことが歴然だと強調しました。そして、築地再整備のために頑張つてほしい、と話しました。



5月6日、被爆地・広島、長崎をめざして歩く「原水爆禁止国民平和行進2018」(東京・広島コース)が江東区の夢の島から出発しました。出発集会には800人以上が参加。開会あいさつした原水爆禁止世界大会実行委員会運営委員会代表の高草木博さんは、朝鮮半島の統一と平和と非核

住民追い出し、まち壊し、歴史と環境を破壊する都市計画道路の見直しを求める住民運動が都内各地で展開されています。特定整備路線連絡会・道路問題しながわ連絡会の岩本まりさんが、住み慣れたまち破壊に反対する思いを込めて運動への支援を訴えました。

4月3日、外務省が突然横田基地へのCV-22の配備の繰り上げを通じて、都民の反対運動の広がりと、都議会での論戦で

「次の一步は日本を踏み出さなければならぬ。非核の願いと憲法9条を輝かせる国の実現へ歩みだそう」と訴えました。集会後、都内を行進しました。

「9条改憲NO! 平和といのちと人権を!」



「改訂」案。自由法曹団東京支部・弁護士船尾遼さんが、市民の反対運動の広がりと、都議会での論戦で

「改訂」案。自由法曹団東京支部・弁護士船尾遼さんが、市民の反対運動の広がりと、都議会での論戦で

南北首脳会談が行われて「朝鮮半島の完全な非核化」休戦から戦争の終結が合意され、いよいよ米朝会談へ向かうというのに、東京では横田にアメリカのオスプレイが本格的に配備される、というこのちぎはくはく、落差をどう考えるか▼一時配備とはいえず、5日に5機が飛来してきて、10日にはパラス

～連載 第5回～

検証  
革新都政  
その後

鈴木都政16年③  
財界と鈴木都政

「行政プロの知事」(東京都知事・日比野登編)と称された鈴木俊一元都知事。その出発は、戦前の内務省地方局行政課で、戦後は地方自治省次長、自治次官などを歴任、その間に東京都制の立案にもかかわった人物です。

その後、東(あずま)都政時代には東京オリンピック開催にむけての手腕を期待され副知事に就任、1967年の都知事選挙では都知事候補に選定されたものの立候補にいたらず、大阪万国博覧会の事務総長に就任するなど、国を挙げてのビッグイベントにかかわってきました。

さらに1971年の都知事選挙でも自民党の都知事候補として擁立されるなど、1979年の都知事就任にいたる過程は、国、自民党と不即不離の関係であったことがわかります。

同時に、こうした「東京都制立案」「東京オリンピック」など、日本の政治、経済活動の根幹にかかわる重要な仕事にかかわることになった背景には、日本の政治・経済を支配する財界の意向ぬきには考えられませんでした。

財界の財界による財界のための都政。当時、日本の財界は、経済団体連合会、日本経営者団体連盟(現在、両団体が統合し日本経済団体連合会)、経済同友会、日本商工会議所の4団体で構成されてきました。かれらは、国、地方での革新勢力の躍進に危機感をのこらせ反転

よくされていない」とのコメントを出し、「横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会」も防衛省北関東防衛局に情報提供を求め、米国に安全対策の徹底などを働きかけるよう申し入れています。

こうした状況下で、4月10日にパラシュート降下訓練中に事故があり、パラシュートが羽村第3中学校のテニスコートに落下する事故が発生しています。あき野市議会はこの事故も含め4月12日、「国による説明責任が果たされず、市民の不安が払拭しないうままCV-22の横田基地への配備がなされないことを強く求め」る」声明文を発表しています。

CV-22配備の経過で、在日米軍司令部から接受国通告が3月16日にあり、米側から調整が整うまでは、日本側からの公表を控えるよう要請されていました。(衆院外務委員会での質疑で明らかに)政府は、具体的な安全性に触れず、配備を隠ぺいしてきました。

沖繩・普天間基地に配備されたMV-22オスプレイは、墜落、緊急着陸、部品落下事故などを頻発させ、配備以来の重大事故率は1・93から3・24と倍増し、海兵隊航空機の平均事故率を上回っています。

CV-22オスプレイ  
横田基地への配備許すな!



4月5日に横田基地に飛来したCV-22を羽村平和委員会撮影

外務省が4月3日、横田基地へのCV-22オスプレイの配備日程の変更を発表し、横田基地に一時的に飛来、本年夏ごろから配備を始めるとの発表。

横田基地に配備されると、福生市の市長は「前倒しに大変驚いている。地域住民の安全懸念への懸念は払

とともに、各種私的懇談会への財界関係者の登用、のちの開発第3セクターへの財界・大企業の門戸開放など、自治体における財界戦略の具体化の先導役としての役割を果たしたのです。

大企業のための開発計画「マイタウン東京構想」をはじめ、その後の4期12年にわたる、臨調・行革のちこみ、福祉の切りすて、民間活力活用、同時多発的な都市開発、そして利権横行などの都政は、そのことを雄弁にも語るものとなっています。

JAPICの誕生  
鈴木都政を考えるうえで、もうひとつ重要なことは、日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)の創立です。JAPICは、鈴木都知事誕生の数ヶ月後

に、当時の鋼材倶楽部理事長の斎藤英四郎新日本製鐵社長と日本土木工業協会会長の前田忠次鹿島建設副社長の呼びかけで、鉄鋼、建設業界などの6団体で設立されたもので、「プロジェクトにかかわる機械、造船、自動車、セメント、電力、不動産、運輸、通信、サービス、金融、保険」などの業界企業で構成され、スローガンとして「空に高く、地に深く、海に広く」をかかげ、計画には東京湾横断道路、臨海部開発、汐留貨物駅跡地開発、東京外かく環状道路など、のちに実現することとなった大規模プロジェクトが目白押しとなっていました。

このように、都政は鈴木知事のもとで、貿易摩擦を背景とした内需拡大と国の財政破綻対策としての「小

敵地侵入、夜間強襲、暗殺、拉致などの特殊任務をもつために、夜間超低空飛行訓練など激しい訓練を必須としています。事故率も10万飛行時間で換算すると4・05になり、MV-22を上回る生存権を脅かすものです。

安全対策の裏付けも  
確証もない隠ぺい配備

連日の抗議・集会  
緊急院内集会

緊急院内集会

配備発表から連日、緊急行動が行われました。4月5日(木)横田基地への抗議行動と北関東防衛局・横田防衛事務所への要請行動。同6日(金)には福生フレンドシップパークに緊急抗議集会を行い500人が参加。15日(日)に

は、10年目に入る横田基地座り込み行動(福生フレンドシップパーク)が500人の参加で行われました。16日には、オスプレイ東京連絡会の呼びかけの「オスプレイ配備反対緊急院内集会」が行われ、300席

室は満席となりました。集会には、東京選出の国会議員、日本共産党の徳留道信、山添拓参院議員が参加。等井亮衆院議員(共産党)、伊藤俊輔衆院議員(希望の党)、初鹿昭博衆院議員(立憲民主党)、手塚仁雄衆院議員(同)、渡辺浩一郎衆院議員(自由党)からメッセージが寄せられました。

は、日本共産党の徳留道信・星見てい子都議会議員が参加。山内れい子都議会議員(生活者ネット)、社会民主党東京都連からメッセージが寄せられました。

でひろがりを見せています。



オスプレイ飛ばすな!  
6・5首都圏行動

日時: 6月5日(火) 18:30より  
会場: 日比谷野外音楽堂(東京都千代田区)  
内容: 抗議集会、集会後・銀座デモ

主催: 戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会

〈訃報〉

高橋正志(たかはし まさし)さんが5月1日急逝されました。(享年74歳)革新都政をつくる会代表世話人(2011年〜2018年現在まで)を歴任され、長年にわたり都政転換、都民要求実現をめざし尽力されました。これまでの業績に心より敬意をこめて哀悼の意を表します。

卯月はじめ